

それぞれの未来へ ～卒業式～

●3/4(土)、西原中第62回卒業証書授与式を執り行いました。82名の卒業生が、それぞれの未来に向けて本校から旅立っていきました。

●今年の卒業生は中学生活の3年間、ずっと新型コロナウイルスの影響を色濃く受けました。不自由な思いをさせてしまったことは残念でしたが、それでも昨年度から延期になっていた修学旅行をはじめ、体育大会や合唱コンクール、校内駅伝大会など大きな行事等を開催できたこと、そしてそこで最上級生として輝く姿を在校生に見せる機会を設けられたことは、今思い返してもうれしく思います。

●熊本地震や新型コロナなど、非常に大きな出来事に見舞われたなかにも、たくましく成長した卒業生。これからも大きく変化していく社会の中でも、一人一人が自分のよさや可能性を生かしながら活躍してほしいと、心から願い、期待しています。



「ようこそ先輩」 & 「立志式」

●3/14(火)の授業参観日は1・2年生ともに、自分の将来について考える授業を行いました。

●1年生は、本年度卒業生の坂本彩花さん、平塚悠一朗さん、三浦友実さん、吉田莉乃さんを講師に招き、ランチルームにて「ようこそ先輩」の授業を行いました。

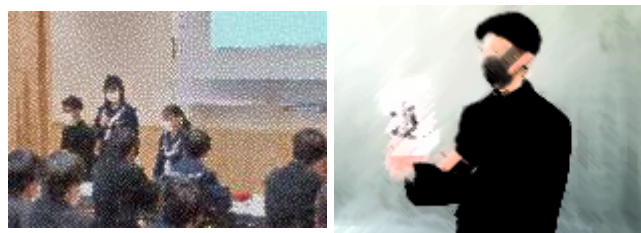
●1年生は卒業までにはまだ間があります。将来を見据え、今、すべきことのイメージをもてない生徒もいるのではないのでしょうか。身近な先輩から話を聴くことで、これからの目標や見通しをもつきっかけになればと考えます。

●授業の様子を見ましたが、熱心に聴いたりメモをしたりする1年生の姿から、先輩から何かを学ぼうとする意欲がうかがえました。授業を終えたクラスでは、「自分は〇〇をもっと頑張りたい！」などの言葉が交わされたそうです。

●2年生では「立志式」がそれぞれの教室で行われました。(右上に続く)

●式では一人一人が前に立ち、自分の決意を表す漢字を書いた色紙を掲げながら、その文字に込めた自分の思い、そしてこれからの目標や抱負を自分の言葉で語っていました。

●それぞれの思いを共有できたことに加え、これまでの自分を見つめ直し、これからどういったことを意識して生活していくかを改めて考える機会になりました。次年度は最上級生。更なる成長へつなげてほしいと思います。



第3回西原村子ども未来会議

●3/7(火)に、第3回「西原村子ども未来会議」を開きました。今回は代表児童・生徒に加え、村議会から議長・産業教育委員会の皆様、村教育委員会と各校学校運営協議会・PTA代表の皆様、駐在所の山下様をお招きして行いました。

●前回の会議で決まった「発表者の自信がもてる返しをしよう」をスローガンとして3校共通して取り組んできたことの様子や成果・課題について、学校ごとにプレゼンテーションを行いました。

●中学校は、生徒会役員が発表しました。代替わりしてすぐの大役でしたが、中学校で取り組んできたことを、わかりやすく堂々とした態度で発表する姿が頼もしかったです。

●今回、小・中学校で同じことに取り組んだことで互いの連帯感につながったのではないかと思います。そして、小学生が「将来あんな中学生になりたい」という思いをもってくれたら何よりです。

●このように「自分たちの課題は何か、それをどうやって解決していくのか」を自分たちで考え、実行していく態度を大切にしていきたいと考えます。

